



監督 松井久子

音楽 長谷川久美子 / プロデューサー補 山田睦美 / 助監督 上村奈帆
製作・著作 株式会社エッセン・コミュニケーションズ / 制作協力 MOCAL
デザイン 栗野 順 / Web制作 清水 晃 / デジタルマーケティング HiGH CONCEPT Inc.

支援 「私たちの主権」委員会

声をあげる
私たち

憲法 クニの 不思議な

ドキュメンタリー映画



日時： 6月25日(土) ①10:00～ ②15:00～

場所： 認定こども園 母の会 木の家

6月26日(日) ③14:00～ *この回に松井監督が来園します！

(さいたま市浦和区本太 1-20-10)

定員： 各回 50名

料金： 大人 前売券 1,000円 当日券 1,200円 / 学生 500円

ボランティアスタッフによる託児あり (1人 300円 事前にお申し込みください)

各回終了後、手作りピザと飲み物付きの交流会をもちます。詳細は裏面をご覧ください。



園のHP

申込・問い合わせ： suutomo 実行委員会 ☒ suutomo423@gmail.com / ☎ 070-6615-1451

憲法には「私はどう生きるべきか」が書いてある。

不思議なクニの憲法

この映画は、憲法論議が政治によって進められるのではなく、主権者である
私たち国民の間に広がることを願ってつくられたものです。

国のかたちをきめる憲法に、誰もが当たり前に関心を持ち、正しい知識を得、
そして理解を深めるために、歴史的事実を重んじながら
「意見」よりも日常に根ざした「人びとの声」に耳を傾けます。
怒りや憎しみから出発する議論は広がっていきません。

対立よりも冷静な選択を—。

私たち一人ひとりが個として大切にされる自由な社会を守りたい。
映画にメッセージがあるとすれば、その一点の「希い」のみです。

<映画の内容>

- 立憲主義って何？ ●歴史に学ぶ（敗戦から日本国憲法の成立まで） ●Peopleを主役に（国民主権）
- 侵されてはならぬもの（基本的人権の尊重） ●封建的家族制度からの解放（男女平等） ●進む憲法の空文化（9条・戦争放棄をめぐって）
- 戦後の日米外交史 ●沖縄は憲法を手に入れているか ●未来に向けて— 18歳選挙権と若者の政治参加
- そしてあなたは何を选ぶのか？（自民党の改憲案・護憲派の主張・護憲的改憲派からの提案）

声をあげる 私たち

瀬戸内寂聴さん（作家）／孫崎亨氏（元外交官・評論家）／長谷部恭男氏（憲法学者・早稲田大学教授）／伊勢崎賢治氏（紛争解決請負人・東京外国語大学教授）／三浦陽一氏（歴史研究者・中部大学教授）／赤松良子さん（公益財団法人日本ユニセフ協会会長・元文部大臣）／船田元氏（自民党憲法改正推進本部長代理）／カレル・ヴァン・ウォルフレン氏（オランダ人ジャーナリスト）／ナレーション 竹下景子（俳優）



<会場までのアクセス> 駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください

- ・J R 浦和駅より徒歩約 12 分（地図が必要な方は、お問い合わせください）
- ・J R 浦和駅、東浦和駅、東川口駅等より国際興業バス『本太坂上』下車徒歩 5 分（浦 01, 02, 03, 06, 08, 08-2, 09, 90, 91, 美 01）

<交流会> 各回上映後 1 時間程度

参加費 大人 500 円 / 小学生以下 300 円 ピザ（2 片）、お茶付き 夜（②③）は、有料で、つまみ、ワインやビールあり

<時間> 上映時間 2 時間 3 分

	日	受付開始	開会	上映開始
①	6/25(土)	9:15	9:45	10:00
②	6/25(土)	14:15	14:45	15:00
③	6/26(日)	13:15	13:45	14:00